

地域密着型教育Q&A

Q 「地域密着型教育」って何ですか？

A 地域密着型教育は、根城中学校の運営にあなたの声を生かすための制度です。学校内に「**地域学校連携協議会**」を設置することにより、地域諸団体の活動やPTA活動との連携をこれまで以上に密にすることができ、皆さんの意見を学校運営に反映させることが可能となります。

地域ぐるみの教育活動を展開することにより、地域に信頼され、地域に支えられる根城中学校、地域に貢献できる根城中学校を作るための仕組みが、地域密着型教育です。



Q なぜ、「地域密着型教育」が必要なのですか？

A 近年の急激な社会環境の変化は、私たちに恩恵をもたらす一方で、さまざまな問題をも引き起こしています。学校においては、非行・いじめ・不登校等の深刻な問題の他、不審者等による子どもたちの命に関わる事件なども頻発し、憂慮される事態となっています。八戸市においても、同様の状況が見受けられます。

これらの問題を克服・解決することを願って、これまでも、子どもたちの教育の担い手である学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割に応じて連携・協力し、さまざまな取組を行ってきました。しかしながら、学校とそれぞれの組織・団体等との間で情報の共有や連携が図られてはいるものの、各組織間の連携や地域の結束力という面では課題を残してきました。また、子どもたちの健やかな成長を願うという点で同じ基盤に立っている学校と保護者ではありますが、相互理解が十分でないために、行き違いや誤解が生じてしまう場合もあるようです。そのため、学校・家庭・地域社会それぞれがもっている教育力が十分に発揮し切れていない、という指摘があります。

地域密着型教育では、保護者・地域住民の皆さんが学校教育により一層参画できる仕組みづくりや、地域の教育力を高める仕組みづくりを推進し、学校・家庭・地域社会が抱えるさまざまな課題の解決をめざします。

Q 普通の学校とどこが違うのですか？

A 地域学校連携協議会を通じて、保護者及び地域住民の皆さんの意見や要望を学校教育に反映させることにより、地域の意見を取り入れた活動（挨拶運動や基礎学力向上の取組、地域の伝統の継承、放課後や土日の子どもたちの居場所づくりなど）をこれまで以上に展開することができます。従来のPTA活動に加え、ボランティアの方々に、「**根城中学校の応援団**」として具体的な支援活動をしていただくことで、教育活動がさらに充実します。

根城中学校の子どもたちが、学校生活を通して夢や友情を育み、自分の定めた目標達成に向けて挑戦できるよう、学校・保護者・地域住民が「**願い**」「**情報**」「**責任**」「**学び**」を共有し、一体となって諸活動に取り組みます。

